

SYMPOSIUM

【シンポジウム】

日時

7月5日(土)

13:00~17:30
〈開場/12:30〉

入場無料

場所

東北学院大学
土樋キャンパス8号館(5階)
押川記念ホール

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL 022-264-6424【事務局】

震災と宗教
— 悼みと向き合える社会へ —

震災から3年—
心の痛みや悲しみは、
表面には見えなくても、奥深くに刻まれています。
悲しみに向き合う技術を培ってきた宗教は、
震災に対してどのような役割を担い、
また、担うべきだったのでしょうか。
単に宗教の問題ではなく、社会の問題として、
識者とともに今一度考えてみませんか。



● 基調講演 ●

きょうかいし

「セラピストと教誨師の違い」

宗教学者

やまおり てつお

山折 哲雄氏

1931年米サンフランシスコ生まれ。東北大文学部卒。
東北大助教授、国立歴史民俗博物館教授、国際
日本文化研究センター所長などを歴任。主な著書に
「悪と往生」(中公新書)「親鸞をよむ」(岩波新書)
「にっぽん巡礼」(創元社)「わたしが死について語る
なら」(ポプラ新書)



「震災から見えてきたこと
— 想定外を想定する力 —」

宗教学者

やまがた たかお

山形 孝夫氏

1932年仙台市生まれ。東北大文学部卒、東北大
大学院博士課程満期退学。宮城学院大学長を経て
現在、同大名誉教授。専攻は宗教学。主な著書
に「死者と生者のラスト・サバー」(河出書房新社)
「黒い海の記憶」(岩波書店)「3・11以後 この絶
望の国で 死者の語りの地平から」(ぶねうま舎)



● パネル討論 ●

「“悲しみの技術”を巡って」

【パネリスト】



宗教学者、評論家
やまおり てつお
山折 哲雄氏



宗教学者、
宮城学院女子大学名誉教授
やまがた たかお
山形 孝夫氏



関西学院大学災害復興制度研究所
リサーチ・アシスタント
ふくだ たかふみ
福田 雄氏



立教女学院短期大学学長
わかばやし かずみ
若林 一美氏

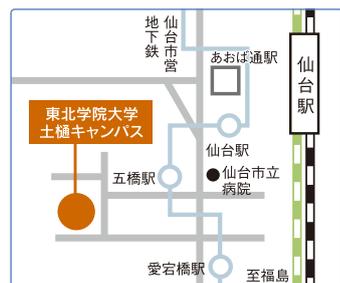


株式会社清月記
代表取締役社長
すがわら ひろのり
菅原 裕典氏



東北学院大学副学長、
教養学部教授
ささき しゅんじろう
佐々木 俊三氏

コーディネーター兼務



- JR「仙台駅」から徒歩20分
- 地下鉄仙台駅より富沢駅方面乗車、「五橋駅」または「愛宕橋駅」下車徒歩5分
- 仙台駅前より長町方面バスにて「仙台市立病院」前で下車徒歩5分